

世界に羽ばたく
オシドリ天使

うえのせいや
上野星矢さん
(ドイツ・ミュンヘン在住)

【写真左から3人目】

オシドリグループの皆さんは、ずっと気にかけてくださっていて、コンサートなどのチラシやポスターを観察小屋に貼っていただいていたのでした。私の励みになっていました。森田さんは変わらず元気いっぱいですね。私は、たくさんのオシドリを見て美しさに感動しました。今回、皆さんに再会できてうれしく思います。いつか必ず訪れたいと思っていたので、夢がかなって感激しています。これからもずっと皆さんとの関係を大事にしたいです。また来ます。

恩師

ささきみきお
佐々木幹夫さん
(舟場出身 / 東京在住)

【写真左端】

以前から、日野町に来てくれるとうれしいと思っていました。上野くんがこの話をしたときに快く「行きます」と言ってくれ、オシドリ天使の交流でお世話になっている日野町の皆さんに恩返しができました。前に上野くんが訪れたときは震災の翌年で、オシドリが来なくなったら困ると、過去最高の350キロのドングリを送り、義援金を持参しての交流でした。今回はパリ音楽院の仲間と共に来てくれ、本当にうれしい気持ちでいっぱいです。

オシドリグループ

もりたじゅんこ
森田順子さん
オシドリ天使の名付け親

【写真左から5人目】

上野さんの来町が決まった時、夢ではないかと思いました。お世話になった関係者の皆さま、ありがとうございました。13年ぶりにお会いした上野さん、今や世界のフルート奏者。心身ともに成長なさって、まぶしい青年でした。「よく来てくださった。素晴らしい演奏をありがとう」満席のお客様の拍手が今も心に残っています。これからもオシドリ天使との交流は続きます。上野さんたちの演奏活動も続きます。皆さまと共に、またの機会を夢見たいです。



再会

▶開演前にオシドリ観察小屋を訪れ、色鮮やかなオシドリを観察
写真左から、佐々木幹夫さん、ロー磨秀さん、上野星矢さん、吉田誠さん、
オシドリグループの森田順子さん、稲田武子さん、稲田匡宏さん、松本利秋さん

出 会 い



おかざきひろこ
岡崎祐子さん
【旧姓：平野】
(板井原出身 / 岡山市在住)



▲寄贈いただいた作品。「オシドリには雪が良く似合う」と岡崎さん（カラー作品）

オシドリの群れと雪景色に感激

町出身の写真愛好家 オシドリの写真を寄贈

このたび板井原出身で、岡山市在住の写真愛好家、岡崎祐子さんから、町へオシドリの写真を寄贈いただきました。

岡崎さんは、昨年12月28日、プロカメラマンのご主人とオシドリを撮影するために観察小屋を訪れました。当日は早朝4時に起き、岡山発米子行の列車に乗ってこられました。

観察小屋で見た『良い写真を撮られた方は、会報等に使うため写真の寄付をお願いできませんか』という看板に、「素晴らしい写真が撮れたから」と、観察小屋とオシドリ資料館、町へ3点の寄贈を決められました。

寄贈いただいた写真は、全紙(565^{mm}×456^{mm})の大きさで、雪が降る中、オシドリの群れが日野川で寄り添い合うもので、オシドリと雪の情景がとても絵

になる作品です。

観察小屋には、オシドリがさまざまな表情を見せる写真が多く飾られていますが、また一味違った雰囲気のある作品となっています。岡崎さんはこの写真を含めたオシドリの写真2点を、あちこちの写真展に出展。多くの人から撮影場所の問い合わせがあるなど、反響の大きさに驚いておられます。

初めて間近でオシドリを見た岡崎さんは「日野町には冬になるとオシドリが飛来するとテレビなどで見ていて、以前から興味がありました。初めて見る観察小屋の窓枠からのオシドリの群れに圧巻され、写真撮影をしばらくの間忘れて見とれてしまいました。この日はたくさんのオシドリが小屋近くに長い間寄っていて、雪も降ったり止ん

だりと絶好の撮影日和でした」と話し、また「緊張と興奮をしながら、私のふるさとで主人と楽しく撮影ができ、素晴らしい作品が撮れたので大変良かった」と、至福の時間を振り返りました。

そして、今回『ふるさと』で写真撮影をして「ふるすとは、春の新緑、夏の抜けるような青空、秋の山一面の紅葉、冬の白い雪景色と、都会では味わえない四季の色風が感じられます。皆さんの協力と努力で、『オシドリが飛来する町』として全国へ発信中。私のふるさとがキラキラ輝いています。いつ訪れても変わらない町並みに、心が癒される思い出がよみがえり、温かく迎えてくれます」と微笑みました。写真は、町長室に飾っています。ぜひご覧ください。